

相馬の民謡

ハアー あの空あたりは、相馬の空かよ
ナンダー コラ ヨート 「はあ チヨーイ、チヨイ」
相馬恋しや、なつかしや ナンダー コーラ ヨート
「はあ チヨーイ、チヨイ」

相馬地方は、まさに民謡の宝庫。おもなものをひろってみると、「相馬流れ山」、「相馬二遍返し」、「相馬甚句」、「相馬盆唄」など、また、新しい民謡では、「新相馬節」といったぐあいに、20種にもものぼる。

この地方は、相馬中村藩の領域を中心とするところで、現在の相馬郡、相馬市、原町市と双葉郡の一部の地域となろう。

鎌倉時代いらい、明治のはじめまで相馬氏の支配したところで、600余年の間、一領主が支配したところは全国的にも例が少ない。その為か他国の風俗などと混じることなく続いたこともあり、情諸豊かな領域をかたちづけてきた。

天明の大飢饉で相馬の人口の三分の二を失ったとき、遠く北陸の国から、多くの移民を招いたが、そのとき、相馬をほめたたえる宣伝歌として、うたわれたのが「相馬二遍返し」であると伝えられている。